

平成21年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

田川市教育委員会

目 次

○ はじめに	1
○ 点検・評価の考え方について	3
○ 自己点検・評価について	
1 教育委員会の活動実績について	4
2 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について	
学校教育課	7
教育総務課	19
生涯学習課	23
文化課	31
○ 資 料	
教育委員会会議議案一覧（資料1）	37
教育委員会会議報告等一覧（資料2）	38
教育委員研修会等参加状況（資料3）	39
教育委員学校訪問日程（資料4）	41
教育委員会委員名簿（資料5）	42

○ はじめに

1 教育委員会の事務の点検・評価制度の導入について

平成18年12月に、教育基本法が制定以来約60年ぶりに全部が改正されました。これに伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正、施行され、教育委員会は、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなりました。

教育委員会が、地域の教育課題や教育ニーズに応じた基本的な教育の方針・計画を策定し、これらに基づいて実施した政策について、その必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価を行うことは、多様に変化する社会情勢や教育改革の動向を見据え、政策立案を的確に行うことに直結していきます。また、その結果を公表することは、市民に対する説明責任を果たすことで、市民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進していくうえで非常に重要なことです。

この報告書は、平成21年度の教育委員会活動を、本市教育委員会が年度毎に作成している「田川市教育施策方針」に掲げた具体的な施策内容等と照らして、教育委員会自らがその進捗状況等について、点検・評価を実施し作成したものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会制度の概要について

(1) 教育委員会制度の仕組み

教育委員会は、首長から独立した行政委員会と位置付けられ、地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する、教育委員による合議制の執行機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されており、教育行政における重要事項や基本方針を決定しています。教育委員会を組織する教育委員は、首長が議会の同意を得て任命します。

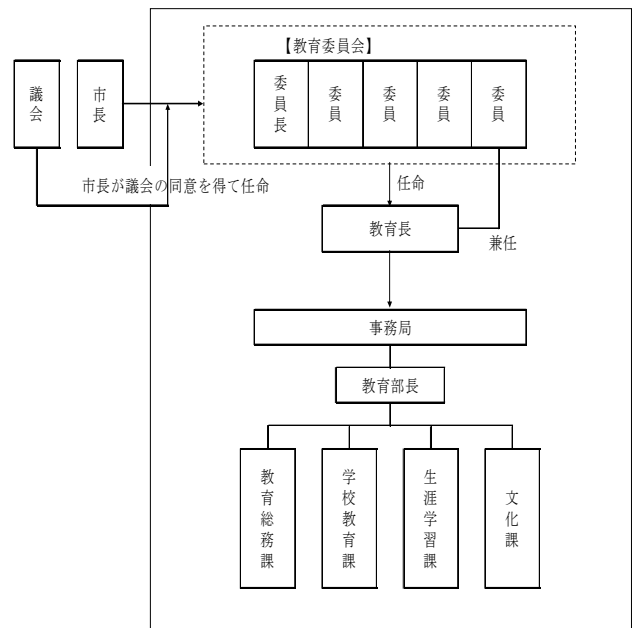
また、教育長は、教育委員のうちから教育委員会が任命し、教育委員会で決定した重要事項等に基づき、教育委員会の事務を執行します。

(2) 教育委員会制度の意義

教育委員会制度の意義としては、教育における政治的中立性の確保や継続性・安定性の確保、地域住民の意向の反映などが上げられます。

教育委員会は、地方における教育行政の中心的な担い手として、その役割を果たすことが求められています。

田川市教育委員会の組織



○ 点検・評価の考え方について

1 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、施策・事業等の内容と実績を明らかにするとともに、成果と課題等を示しています。

2 点検・評価結果の構成

(1) 点検・評価の対象

ア 教育委員会の活動状況

イ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務（自己点検・評価シート）

「平成21年度教育施策方針」に掲げる主要課題を点検・評価の対象としています。

(2) 点検・評価の対象期間

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで（平成21年度）としています。

(3) 点検・評価における内容及び成果

各項目の目標達成に向けて取り組んだ内容、成果、課題等を示しています。

(4) 評価

自己点検・評価シートについては、教育施策方針に掲げた主要課題に対する実施及び進捗状況等を踏まえ、AからDの4段階評価を行っています。

【評価判断基準】

A…著しい成果が得られた

B…概ね良好な成果が得られた

C…あまり成果が得られなかった

D…成果が得られず、課題を残した

3 担当課

自己点検・評価シートについては事業を実施した担当課が点検・評価を行いました。

4 学識経験者の知見の活用について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項に規定する「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることから、今回の評価を行うにあたっては、次の方に依頼し、評価いただきました。

田川市立学校学校評議員連絡会議副会長・西 朝義氏、田川市PTA連合会会長・木村知弘氏、校区活性化協議会会長連絡協議会前座長・村岡 洋氏、田川市公民館連絡協議会会長・高橋昭朗氏、田川市青少年育成連絡協議会会長・二場浩隆氏、田川市立図書館協議会会長・是澤清一氏、田川市美術館協議会委員・片岡 覺氏、田川市石炭・歴史博物館等運営協議会会長・花村利彦氏。

○ 自己点検・評価について

1 教育委員会の主な活動実績

(1) 教育委員会会議の実施

田川市教育委員会会議規則第3条の規定に基づき、定例会は毎月1回、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する事項を審議しました。

ア 開催実績

定例会：12回 臨時会：7回 合計：19回

イ 議決の状況【教育委員会会議議案一覧：資料1】

議案の内容	件数
基本方針・計画の策定	1
教職員の人事関係	2
教育委員会規則等の制定・改廃	9
教育委員会事務の管理・執行状況の点検評価	1
予算、条例等議会議決事項	9
教科書の採択等	1
審議会委員等の任免・委嘱	6
その他	5
合計	34

ウ 報告事項等【教育委員会会議報告等一覧：資料2】

報告：2件 事務報告：22件 合計：24件

エ 傍聴者状況

平成21年度状況								
開催月	種類	傍聴者数	開催月	種類	傍聴者数	開催月	種類	傍聴者数
4月	定例	1	7月	臨時	0	12月	定例	0
4月	臨時	5	8月	定例	0	1月	定例	0
4月	臨時	4	9月	定例	0	2月	定例	1
5月	定例	0	10月	臨時	0	3月	定例	0
6月	定例	0	10月	臨時	0	3月	臨時	0
7月	臨時	1	10月	定例	0			
7月	定例	0	11月	定例	1	合計	19回	13名

オ 広報活動状況

定例教育委員会会議開催日時については、教育庁舎玄関前へ掲示し、広報たがわ及びホームページへ掲載することにより周知を図っています。また、会議録については、求めに応じて公開しています。

さらに、教育委員会のしくみや教育委員会委員の紹介、事務局各課の事業内容等をホームページへ掲載しています。

(2) 教育委員会と市長部局との連携

平成21年10月、教育委員長の交代に伴い、市長と教育委員との意見交換を実施しました。また、平成22年1月には新教育委員の就任に伴い、市長と教育委員との意見交換を行いました。これからも、年に1回は市長との意見交換会を実施していく予定です。

(3) 教育委員の自己研鑽、他自治体との連携、情報交換等

ア 研修会への参加等【教育委員による研修会等参加状況：資料3】

長崎県島原市で開催された九州地区市町村教育委員研修大会等に参加し、資質向上に努めました。また、熊本市で開催された九州都市教育長協議会並びに研究大会や東京都港区で開催された九州・山口の近代化産業遺産群世界遺産シンポジウムに教育長が出席しました。

イ 他自治体との連携、情報交換等【教育委員による研修会等参加状況：資料3】

毎月開催される筑豊管内教育長会議に教育長が出席し、出席者との情報交換や研究協議を行いました。

(4) 学校訪問【教育委員学校訪問日程：資料4】

年次計画に基づく定例的なものとして、5月に小学校3校と中学校3校を訪問しました。6月、7月、10月には小学校2校と中学校2校の授業充実学校訪問に参加しました。また、教育委員の校区担当制を取り入れ、委員が担当の学校を訪問することによって、①学校と教育委員との結びつきを深める ②教育委員としての資質向上に努める ③各学校の取り組みを交流しながら教育委員の学習会を実施する 以上3つを目指すことにしました。その他、入学式、卒業式、体育祭、文化祭等の学校行事に出席し、式典でのあいさつ、校内の視察、学校関係者との懇談等を行いました。

(5) 教育施設訪問

成人式、公民館まつり、コールマイン・フェスティバル（炭坑節まつり）等所管施設で行われる行事に出席し、式典でのあいさつ、イベントへの参加、施設内の視察及び関係者との懇談等を行いました。

2 活動の評価

(1) 教育委員会会議内容について

教育委員会会議日前に事前配付された資料等について、会議前に案件への理解を深め、会議には教育部長、課長、教育研究所長等が出席し、議案、事務報告など、案件の説明を行い、適切かつ慎重に審議を行いました。

また、審議の中で、委員間及び事務局との活発な意見交換を行い、よりよい田川市の教育行政の実践に向け、改善点や要望を示しました。

(2) 教育委員会会議等の情報公開について

開催日等の情報については、事前に各媒体により公開し、市民に開かれた教育委員会を目指しました。会議録についても求めに応じて公開していますが、ホームページ上においても教育委員会の活動についてお知らせしています。今後もさらに開かれた教育委員会を目指します。

(3) 自己研鑽及び情報交換等について

教育委員を対象にした研修会や協議会等に積極的に参加し、自己研鑽に努めました。また、研修会や協議会等に出席している他市町村教育委員会の教育委員をはじめとする関係者と交流を行い、教育行政について情報交換を行いました。

(4) 施設等の訪問について

学校、教育施設等で開催される各種行事へ積極的に出席し、教育現場の実情把握に努めました。また、その中で教職員等関係者との懇談や情報交換を行い、積極的に情報収集を行いました。

平成 21 年度 田川市教育委員会 自己点検・評価シート

○ 重点施策

第Ⅱ期学力向上プロジェクトによる重点課題の克服と教員の実践的指導力の向上

主要課題	第Ⅱ期学力向上プロジェクトによる重点課題の克服と教員の実践的指導力の向上	
担当課	学校教育課	
課題対策の 具体化	1 学力実態における課題の解決策の推進	
実績	成果	<p>学力実態にみられる課題を把握するために、校長・教頭・教務主任(主幹教諭)等の研修会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決を図る学力向上策の具現化を図った。 ・実態に即した学力向上プランを各学校で作成した。 ・児童生徒の学力向上のために各種研修会を実施した。 ・速読力や計算力等の基礎的学習技能の向上策の推進を図った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校及び中学校区の児童生徒の実態に応じた具体的支援策の検討を行う必要がある。
課題対策の 具体化	2 教員の授業力と生徒指導力の向上をめざす教員研修の充実・強化	
実績	成果	<p>教師の授業力向上と職能成長に応じた教職員研修を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を重視した授業展開が広がった。 ・校内授業研究の定例化を図ったため研修会の開催回数が増加した。 ・田川市教科等研究会における各教科の公開授業研究を実施したため、全ての教科で公開授業研究を実施することができた。 ・県・市教育委員会及び田川市立教育研究所主催の研修会への積極的な参加ができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の校内研究では、国語科を中心に言語活動を重視した授業研究に取り組んでいる学校が多い。他の教科での取組は、新学習指導要領実施の移行期間でもあるため、まだ少ない。 ・中学校の校内研究では、言語活動を重視した授業研究に取り組んでいるが、小学校と同様に教科に偏りがある。
課題対策の 具体化	3 「個人カルテ」・「授業改善の指針Ⅱ」の活用と学力阻害要因や習熟度等に応ずる指導の推進	
実績	成果	<p>児童生徒の学力実態を把握するために各種調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力検査C R Tによる隔年追跡調査が実施できた。(小1年・3年・5年・中1年・中2年) ・文部科学省全国学力・学習状況調査を実施し、データ集を作成し活用できた。(小6年・中3年)

実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 福岡県学力実態調査の実施と活用（小6年「理・社」・中3年「理・社・英」）学力向上のための授業研究などの工夫をした。 小学校では就学前実態調査を実施できた。 「授業改善の指針Ⅱ」の校内授業研究での積極的活用ができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業を可能にするための人的確保が、困難である。
課題対策の具体化		4 学校教育目標の具現化をめざす健全な学校文化の創造
実績	成果	<p>自己評価及び業績評価の実施に当たり、目標設定段階や業績評価段階で市内共通施策による支援ができた。</p> <p><目標設定への支援策></p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校校区単位で小中合同のデータ分析会議（12月） 保護者セグメントを活用した校長、教頭研修会（2月） 教育施策（案）を校長会へ早期の提案（3月） <p><業績評価への支援策></p> <ul style="list-style-type: none"> 田川市学力向上プロジェクトによる共通データによる分析 <p><組織マネジメントを活かした学校組織の編成></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校指導計画書の点検 定例学校訪問及び臨時学校訪問による指導
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の第三者評価の実施及び各学校の目標達成への支援策の具体化が必要である。
総合評価		<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね良好な成果が得られた。 様々な事業を実践しており、各学校でも実施することができた。 授業研究等の実施回数も増加した。

○ 重点施策

よりよい生き方をめざす心の教育と体力づくり

主要課題	よりよい生き方をめざす心の教育と体力づくり	
担当課	学校教育課	
課題対策の具体化	1 道徳教育の充実と規範意識の育成	
実績	成果	<p>児童生徒に基本的な倫理観や規範意識、生命尊重など基礎となる道徳性の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「心のノート」の活用が進んだ。 朝の読書活動を各学校で推進できた。 キャリア教育を総合的な学習の時間に位置づけて実施できている。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育は、小学校高学年及び中学校で実践されているが、小学校低学年からの取組も必要である。

課題対策の具体化		2 多様な体験活動を通して達成感を高め、社会貢献等のよりよい生き方をめざす意欲の育成
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かしたボランティア体験や福祉体験、自然体験を教育課程に位置づけた。 ・キャリア教育を各中学校において教育課程に位置づけた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年からのキャリア教育の推進が必要である。
課題対策の具体化		3 人権を大切にす教育とその啓発
実績	成果	<p>教育課程の実施状況について点検活動を行うとともに、教務主任、人権・同和教育担当者の研修会ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの調査やチームによる個別対応でいじめ件数が減少した。(平成20年度5件→平成21年度2件) ・「心のノート」「かがやき」「あおぞら」「しなやか」を教育課程に位置づけて活用ができています。 ・総合的な学習の時間などでの地域教材の開発及び活用
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人権感覚の育成に関して「人権意識アンケート」等の分析能力の向上が必要である。
課題対策の具体化		4 生徒指導に関する校内組織機能の強化と保護者・関係機関との連携
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校、非行等の問題解決を図る委員会で、いじめアンケートや自己他者肯定感テストを実施し問題の把握に努めた。 ・学校評議員研修会を2回実施できた。(福岡教育大学からの講師による研修会) ・中学校区学校サポート協議会の設置校区が2中学校区から3中学校区となった。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校サポート協議会を各中学校区で設置する必要がある。
課題対策の具体化		5 食育、体育を通して食習慣、運動習慣の向上と体力づくり
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県立大学と、小中学生の食行動と健康概念についての共同研究を行った。「新家庭教育宣言」に、朝食欠食についての項目をおりこみ、朝食欠食は全国平均に比べて低い傾向を維持している。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校家庭科における食事づくり、弁当づくりなどの生活自立力を育成する。
総合評価		<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好な成果が得られた。 ・様々な問題発生に個別に対応したチームによる取り組みができた。

○ 重点施策

地域に根ざした小・中連携の教育

主要課題	地域に根ざした小・中連携の教育	
担当課	学校教育課	
課題対策の 具体化	1 各校区の共通課題の克服をめざす小・中の授業交流の実施	
実績	成果	<p>小中連絡会や校区プロジェクトによる共通課題を共有することができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中授業交流会及び授業研究会による課題の共有が進んだ。 ・「個人カルテ」による個別課題の小中の共有が進んだ。 ・中一ギャップの効果的な克服のための具体策が各学校で見えてきた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小中学校では、中1ギャップの解消に向けて、小中連絡会、小中授業公開、小中交流授業など様々な取組が進められている。このことにより、小学校と中学校の連携は深まっているが、さらに、中1ギャップの解消に向けて各中学校区の児童生徒・教員・保護者の交流を深める必要がある。
課題対策の 具体化	2 家庭の教育力向上への支援	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上プロジェクトの家庭・学校学習生活調査を活用し生活リズムの育成を検証できた。特に朝食の習慣化について、新家庭教育宣言の取組を主に行うことで朝食欠食率は低下した。また、新家庭教育宣言については全17校で実施できた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣化を重点とした家庭の教育力の向上
課題対策の 具体化	3 学校評議員との連携強化と外部評価の積極的な活用	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員と関係機関との連絡調整及び学校評議員相互の情報交換と研修等を行うことを目的として、平成17年度から「田川市立学校学校評議員連絡会議」を設置している。平成21年度も2回会議を開き、1回目は校区の課題についての情報交換と協議を、2回目は、大学講師を招いて講演会を行った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は学校外部評価を積極的に進める必要がある。このため、学校評議員の中に、外部から客観的に評価判断できるような、大学講師等の人選などの導入も効果的であると思われる。現在2校であるが、今後各学校へ広げていく必要がある。
課題対策の 具体化	4 校区活性化協議会との連携による安心、安全の取り組みと青少年健全育成	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各校区では、校区活性化協議会を中心とした地域ボランティアによる自主防犯・安全活動を実施している。どの校区でも実施されているのは、毎朝登校時の安全立哨・交通安全指導である。これは、校区活性化協議会役員だけでなく、教師・PTA・老人クラブ・地元有志など多くのボランティアによって行われている。また、校区によっては、青パト巡回や定期的な夜間巡回などを行っている。

	課題	<ul style="list-style-type: none"> 登校時はかなりの人数のボランティアにより、安全体制が確立されているが、下校時は下校時間帯が広範囲にわたるため、1校区を除いて安全立哨が進んでいない状態である。下校時の立哨時間帯が一般社会人の勤務時間帯にあたるため、立哨が困難と思われるが、今後の検討課題である。
総合評価		<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校区の安全意識が年々高まってきており、今後も児童生徒に関する安心安全に関する住民意識の高揚に努めていきたい。 歴史の長い小中連携、学校評議員の連絡会議、校区活性化協議会などは田川市の強みであり、特色であるので、更なる有効活用を行う必要がある。さらに、家庭での教育とも結びついた小・中連携教育を進めるために、保護者組織であるPTAとの連携を強化していきたい。

○ 継続課題

特別支援教育の充実

主要課題	特別支援教育の充実	
担当課	学校教育課	
課題対策の具体化	1 特別支援教育の充実をめざした諸条件の整備や教職員研修の深化	
実績	成果	<p>特別支援教育支援員制度を有効活用できる学校体制を確立した。</p> <ul style="list-style-type: none"> LD（学習障害）やADHD（注意欠陥/多動性障害）など個の実態の把握と個に応じた教育を推進できた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員の各学校からの配置要望は多いが、全ての要望に応えることはできていない。
課題対策の具体化	2 個々の障害に応じた適切な指導計画の作成による特別支援学級の経営	
実績	成果	<p>特別な支援を要する児童生徒への個別の支援の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会性の育成や基礎的な学力の向上を図った。 特別支援学級宿泊研修における研修内容の充実ができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画の内容の充実を図る必要がある。
総合評価	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね良好な成果が得られた。 特別支援教育コーディネーターの育成が進んできたため個別支援への理解度が高まった。 	

社会の変化に対応した教育の推進

主要課題	社会の変化に対応した教育の推進	
担当課	学校教育課	
課題対策の 具体化	1 オルネット田川の活用と教育の情報化の推進	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会実施により情報教育推進者が育成できた。 ・学校のホームページが充実してきた。 ・PC教室、共通ファイルサーバーの活用の研修会を行った。 ・学校ICT環境整備事業の国庫補助金及び経済対策臨時交付金を活用し、小学校のPC教室のパソコン370台の更新、小中学校の教師用パソコン160台・プロジェクター153台・ペン型電子黒板26台、実物投影機17台等の購入を行うことができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校における複数の情報教育に堪能な教員の育成を行う必要がある。
課題対策の 具体化	2 国際理解教育の推進及び外国語教育の充実	
実績	成果	<p>児童生徒の外国語活動及び外国語科における知識・理解、コミュニケーション能力の育成が図れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語指導助手（ALT）の活用による実践的コミュニケーション能力の育成ができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生や外国籍地域住民等が、地域にいないために、積極的活用と国際理解教育の推進が難しい。 ・田川市雇用のALTが1人しかいないため、市内17校に十分な時間を派遣することができない。
総合評価	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好な成果が得られた。 	

幼児教育の充実

主要課題	幼児教育の充実	
担当課	学校教育課	
課題対策の 具体化	1 田川市幼児教育審議会の設置	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の中長期的展望に立った幼児教育行政のあり方及び田川市立幼稚園の幼児教育と幼稚園経営について審議するため、平成21年7月に田川市幼児教育審議会を設置した。平成21年度中には8回の会議を開催し、審議会としての一定の方針を出すことができた。

	課題	・本年8月にはこの審議会の答申が出される予定であり、事務局としての任務を全うする必要がある。
課題対策の具体化		2 幼稚園教育課程の実践的研究による教育内容の充実
実績	成果	・幼稚園教職員の指導力を育成する研修会への参加 ・研修会参加報告書への個別指導 ・就学前学習会への講師招聘による実施 ・保育所（民間、公立）・幼稚園・小学校の教員参加で研修会が実施できた。
	課題	・幼稚園園長の指導力の育成 ・福岡県立大学の保育の学生参加 ・幼稚園教育審議会の審議
課題対策の具体化		3 幼稚園・保育園と小学校の連携強化
実績	成果	・従来、市立幼稚園から、園児が新入学する学校へ児童記録を送付していたが、平成22年度から新たに、新入学児童について保育所による「保育所児童保育要録」の小学校送付が始まった。このことにより、保育所と小学校との連携がさらに強化されることとなった。
	課題	・各学校における指導要録の積極的な活用 ・私立幼稚園と小学校との連携強化 ・就学前学習会の内容充実と参加者拡大の取り組み
総合評価		【B】 ・幼児教育審議会の審議も順調に進んでおり、答申も近々出される予定であるがこの答申内容について十分検討していく必要がある。また、保育所・幼稚園・小学校の連携強化も順調に進んでいる。

学校適正規模の検討

主要課題		学校適正規模の検討
担当課		学校教育課
課題対策の具体化		1 適正な通学区及び統合問題に関する継続的な検討
実績	成果	・小学校統合に続いて、学校適正規模審議会の中期答申事項である中学校統合及び小中一貫校に関する検討も行ってきた。特に中学校については、対象となる学校の現状把握に努めるとともに、今後どのようなスケジュールで進行できるかという点についての検討を行った。
	課題	・中学校統合については、教科欠や学校運営の面からも問題が生じてきており、今後も進めていく必要があるが、校区活性化協議会の再編ともなるため、さまざまな角度からの検討を要する。また、小中一貫校についても、モデル校区事業として推進していくことが望ましい。

課題対策の具体化		2 新生弓削田小学校の円滑な運営
実績	成果	・平成21年5月に行われた運動会では、船尾小の伝統であった「エイサー踊り」を、5・6年生全員で披露した。学校運営に関しても、学校教職員全員の気配りにより大きなトラブルもなく、円滑な学校運営を行うことができた。
	課題	・統合により、校区が拡大したので児童の行動半径が広がった。このため、児童の行動について、学校・家庭の双方において安全面での配慮をより必要とする。
課題対策の具体化		3 船尾小学校跡地利用についての継続的な検討
実績	成果	・平成20年度に設立された「船尾小学校跡地利用検討委員会」は、平成21年10月に、全庁的組織である「田川市緊急課題検討委員会」で検討されることになった。譲渡・貸与・市が活用の3通りについてあらゆる角度から検討を行い、市が活用する方針を出したところである。
	課題	・跡地については、地元をはじめとした各方面から、さまざまな意見がある。当面は倉庫・収納庫として財政負担のない活用を行うが、今後もさまざまな活用方法について検討していく必要がある。
総合評価		<p>【B】</p> <p>・児童生徒にとって、ある程度の集団規模は必要であり、学校運営を行う上においても適切な学校規模を保つことは重要である。今後も児童生徒のためにも、適切な教育環境を構築するための学校適正規模を検討していくことが望まれる。</p>

田川市放課後児童健全育成事業の実施

主要課題		田川市放課後児童健全育成事業の実施
担当課		学校教育課
課題対策の具体化		1 放課後児童の健康管理、安全確保、情緒の安定
実績	成果	・平成21年度から、放課後児童健全育成事業が福祉部子育て支援課から学校教育課へ移管された。移管にあたっては、さまざまな課題があったが、2課の協力体制が順調にとれて円滑な移管となった。また、部屋の拡張整備や空調設備などの環境整備も、平成21年度中に実現することができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員に対する専門性及び人権関係の研修体制の構築 ・不審者対策に係る学校との情報共有 ・長期休暇における児童クラブ運営時の児童の健康管理
課題対策の具体化		2 遊びの活動への意欲と態度の育成

実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・県事業による、体力向上させるための「子どもの遊びの実施研修事業」を各児童クラブで行った。その事業により、新たな遊びを取り入れることができ、遊びを通して、チャレンジする精神や、意欲を培った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「遊び」を取り入れた指導員研修の実施 ・県立大学の学生等による「遊び」の支援と実践 ・子どもの激しい動きに対応する指導員への負担増や業務過多の問題
課題対策の具体化		3 遊びを通しての自主性、社会性、創造性の育成
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して、体験をし、各々の好きなことや遊びをさせることで自主性を伸ばしている。 ・児童クラブでは異学年で生活することから、遊びを通して、集団生活のルールや、みんなで話し合いをして、自主的に、みんなで楽しく過ごすためにはどうしたら良いかを考える機会を作るなど、社会性や創造性の育成を図った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年集団構成のための適切な指導 ・児童間におけるお互いの思いやりや気配りなどの人権意識の育成 ・学年に応じた適切な指導の実施
課題対策の具体化		4 放課後児童の遊びの活動状況の把握と家庭との連携
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブの活動中に児童の間でトラブルが発生した場合は、必ず保護者にその報告をし、児童の間でも自分がしたことがどうだったのかを指導している。 ・家庭環境の問題が児童クラブでの活動に影響もあることから、常日頃より保護者との信頼関係の構築を図り、児童の健全育成に努め、ひいては、学校との連携を図った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の教育力低下による児童の問題行動の発生 ・指導員と保護者との懇談の機会が少ないことによる相互理解の不足
課題対策の具体化		5 その他放課後児童の健全育成上必要な活動
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と児童クラブは、同じ児童を預かり、教育や指導をしている。 ・事務が学校教育課に移管されたことにより、教師と指導員の児童の情報交換や、児童へのサポートが、以前よりも適切になされるようになった。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる児童についての学校教職員からの協力・支援 ・児童クラブでの児童の行動についての情報共有
総合評価		<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務移管して1年経過したが、大きなトラブルもなく、各クラブの運営は順調であった。また、長年の懸案であった施設改修や空調設備も実現できた。 ・今後は、指導員への研修体制を充実させる必要がある。児童心理学や教育学や人権学習などさまざまな観点から実施していきたい。

田川コールマイン・フェスティバルへの協力

主要課題	田川コールマイン・フェスティバルへの協力	
担当課	学校教育課	
課題対策の 具体化	1 田川コールマイン・フェスティバルへの参加・協力体制の確立	
実績	成果	・10月7日の臨時校長会で市長講話を行い、「炭坑節総踊り」への参加要請を行った。その結果、各学校の参加がなされた。
	課題	・学校行事の日程とコールマイン・フェスティバルの日程が重ならないようにする必要がある。
総合評価	【B】 ・概ね良好な成果が得られた。	

教育研究指定事業などの推進

主要課題	教育研究指定事業などの推進	
担当課	学校教育課	
課題対策の 具体化	1 「第Ⅱ期学力向上プロジェクト」の先行的実践校の推進	
実績	成果	・報告会を田川小学校・中央中学校区、鎮西小学校・鎮西中学校区で実施することができた。 ・田川市内の教職員が報告会に参加し、研修を深めることができた。
	課題	・第Ⅱ期学力向上プロジェクトの総括
課題対策の 具体化	2 国、県、諸団体による各種指定校における研究推進の充実	
実績	成果	・文部科学省指定「鎮西校区～人権教育推進地域事業（1年次）」において第Ⅱ期学力向上プロジェクトと連携を図り、報告会を実施することができた。
	課題	・研究協力校（弓削田中校区・金川中校区）との連携の充実
課題対策の 具体化	3 県PTA連合会家庭教育支援事業及び県アンビシャスふくおか家庭教育宣言事業の推進	
実績	成果	・田川市PTA連合会と連動し、田川市全小・中学校で県アンビシャスふくおか家庭教育宣言を実施することができた。
	課題	・小・中学校における県アンビシャスふくおか家庭教育宣言の実施率の向上

総合評価	【B】 ・概ね良好な成果が得られた。
------	-----------------------

教育研究所所管事業

主要課題	1 教職員の資質向上をめざした研修会等の充実	
担当課	教育研究所	
課題対策の 具体化	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱研究員を募り実践研究の深化を図る。 ・教育実践研究の募集並びにその所感集を発刊する。 ・田川市教科等研修会の運営に参画する。 ・教育講演会や実技講習会を開催する。 	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱研究会（小2名、中1名、計3名）年間6回の研修会を行い、学校研究、個人研究等延べ25編の教育論文を作成し、田川市小中学校及び福岡県下の教育研究所に配布し、高い評価を受けている。 ・市内では、小中学校管理職に「論文所感」の執筆を依頼して「所感集」を作成し、各学校及び教育機関へ配布した。また、教育実践研究表彰式を行い、教育実践研究の努力をした先生方の労をねぎらった。 ・教育実践研究研修会（小4名、中2名、計6名）。年間3回の研修会 ・田川市教科等研修会・小中併せて年間に部会を7回、研究授業を23回行い、教師の教育力の向上を図った。 ・コンピューターサークル等7つのサークルが指導力と操作技術力の向上を目指した。
	課題	・多くの研修会が行われたが、各研究会で指導できる多くの指導者が望まれる。
課題対策の 具体化	2 調査研究の充実及び教育課題解決のための資料提供	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもと規範意識」についての調査（子ども対象） ・「子どもと規範意識」に関する保護者の様子の調査（保護者対象） ・「子どもと規範意識」に関する教職員の様子の調査（教職員対象） 以上3点の調査を行い、結果を学校や保護者をはじめ各教育団体に提示し、対応の改善を図った。
	課題	・膨大な資料であるため、大切な要点を伝えた。
課題対策の 具体化	3 学校・学級不適應や生徒指導上の諸課題への対応の充実	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・サウンドスクールは、中3男子1名、中2女子1名、中1男子1名・女子1名、小6男子1名・女子1名、小3女子1名、小2女子1名（途中転校）の計8名の指導を2名の指導員で行った。 ・中学3年男子1名はサウンドスクールの指導の成果が上がり、希望する高校に進学することができた。

	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・サウンドスクールは2名の指導員が児童生徒をよく理解し、励まし続けることで成果を上げることができる。そのためには、学校や家庭との密なる連絡が必要である。特に保護者との連絡は夜に行われることがほとんどである。また、学校との関わりも深くなり、指導員の学校での取り組みも必要になるため、出張旅費が不足しがちである。
課題対策の具体化		4 資料センターとしての機能の充実
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度は、学級経営、英語活動、ケイタイ・ネット関係、学習指導等61冊の教育関係書籍と22のビデオ、DVDを購入し資料センターとしての充実を図った。 貸し出し実績は、図書・資料・ビデオ・DVD・紙芝居等389件であった。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市の指定業者が取り扱えない教材・教具があるため、購入できない場合がある。
総合評価		<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好な成果が得られた。 ・教職員の研修及び教育に関する調査研究等、現在の人的条件のもとでは高い成果を上げていると考える。 ・サウンドスクールの指導者は、何年か続けて指導できる教員が望ましい。

平成 21 年度 田川市教育委員会 自己点検・評価シート

○ 重点施策

安全面・健康面に配慮し地域と連携する教育環境の整備

主要課題	1 学校施設の耐震化の推進	
担当課	教育総務課	
課題対策の 具体化	年次計画による耐震診断及び耐震補強工事の実施	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断の結果に基づき、6校（金川小学校校舎、大浦小学校校舎、鎮西小学校校舎、田川小学校屋内運動場、伊田中学校校舎、中央中学校校舎）の耐震補強工事を実施した。なお、鎮西小学校及び伊田中学校については平成21年度から22年度の初めにかけて補強工事を行う。 今後、小・中学校で耐震補強工事が必要な学校は、大藪小学校校舎と鎮西中学校校舎であり、平成22年度中に工事予定である。この2校の工事をもって市内小・中学校の耐震化はすべて終了する。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断の結果、後藤寺幼稚園園舎に耐震性がないことが判明した。現在、同園は隣接する後藤寺小学校の余裕教室を借りて運営している。今後の同園の方向性については田川市幼児教育審議会の中で審議中であり、この結論を市長に報告した上で、市としての方向性を出す必要がある。
総合評価	<p>【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> 著しい成果が得られた。 耐震化対象施設の耐震診断を終えたことで、平成21年度は補強工事が進み、耐震化率100%の目途が立った。 	

主要課題	2 学校の防犯対策の強化	
担当課	教育総務課	
課題対策の 具体化	夜間の学校施設機械警備及び小学校下校時の巡回警備の実施	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き専門の警備会社に委託し、市立幼稚園や小・中学校における夜間、休日の警備（機械警備・巡回警備）を行った。特に小学校については、児童の下校時に警備会社による巡回警備も併せて行った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 対象施設が多いため、巡回等において十分目が行き届かない。
課題対策の 具体化	学校現場防犯対策事例の研究	

実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の状況調査を行った。調査の結果、放課後の児童生徒及び地域等の利便性を考慮して、正門又は裏門等に扉を設けてない所があった。また、境界が確定してない等の理由からフェンスや塀を設けてない所があった。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の防犯対策は必要であり、必要に応じて対策を講ずる必要がある。ただし、実施に当たっては費用を伴うため、財源確保の観点から国の補助制度等の活用を含めた検討が必要である。
総合評価		<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね良好な成果が得られた。 今後とも、子供たちの安全確保のためでき得る限りの対策を講じていきたい。

主要課題		3 学校施設の整備及び適切な維持管理業務の実施
担当課		教育総務課
課題対策の具体化		学校施設の改修事業
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 猪位金小学校、伊田中学校の屋上防水工事や伊田小学校のアプローチ天井補修をはじめ、金川小学校、伊田小学校、伊田中学校のプールフェンス等の補修、弓削田小学校、鎮西中学校の浄化槽補修等を行った。 中央中学校の屋内運動場は、建築後40年を経過し老朽化が進んでいることから、改築に向け実施設計を行った。なお、改築工事は平成22年度に実施する。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した施設等が多いことから、今後、補修等が増加することが予想される。
課題対策の具体化		特別支援教育対象者への対策
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 例年、障害を持った児童・生徒が入学等する場合は、学校から施設の改善要望が出されるが、今年度については要望がなかった。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> なし
課題対策の具体化		効率的学校施設維持管理業務
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 技術員のセンター化により、学校施設の維持管理が効率的に行えるようになり、学校からの修繕等要望に対しても、多額の予算が伴うものを除けば、速やかに対応できた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 正規職員が減少してきており、迅速な対応が困難になることが予想される。
総合評価		<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね良好な成果が得られた。 学校施設等の老朽化に伴う改修や学校現場からの修繕依頼には概ね対応することができた。

主要課題	4 学校施設の有効活用	
担当課	教育総務課	
課題対策の 具体化	校区活性化協議会との連携による地域コミュニティーの形成	
実績	成果	・世代間交流事業を初めとした地域の各種行事において、学校施設は利用された。
	課題	・なし
課題対策の 具体化	余裕教室の必要性に応じた転用	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の減少に伴い生じた余裕教室は、各学校でそれぞれ機能を持たせて活用した。 ・伊田小学校においては、放課後児童健全育成事業を推進するため、余裕教室を転用した。 ・後藤寺小学校においては、隣接する後藤寺幼稚園が耐震診断の結果、補強工事が必要と判明したことから、急遽、余裕教室を後藤寺幼稚園として活用した。
	課題	・後藤寺幼稚園については、緊急避難的な対応をしているところであり、同園の今後の方向性を速やかに決定する必要がある。
総合評価	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好な成果が得られた。 ・学校施設は学校運営に支障を来さない範囲で地域などに活用してもらっている。 ・余裕教室は、各学校で必要に応じて転用し、活用している。 	

○ 継続課題

中学校給食の実施

主要課題	1 中学校給食の実施	
担当課	教育総務課	
課題対策の 具体化	選択制ランチサービス方式の試行実施	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・選択制ランチサービス方式（従来の家庭から持参する弁当やパン注文に、市が斡旋する弁当を加えたもの）の平成22年度全校実施に向け、平成21年6月から翌年3月まで弓削田中学校、鎮西中学校の2校において試行した。試行に当たっては保護者や生徒へのアンケート調査や説明会を行い、利用しやすいよう申し込み方法等の見直しを随時行いながら進めたが、利用者は増えなかった。
	課題	

実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会で協議の結果、このまま平成22年度に全校実施しても利用者の増加は望めず、費用対効果や受託業者の採算面等から判断して、本格実施はしないことを決めた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭から弁当を持参してない生徒が2割程度いることから、食育の観点からこれらの生徒のために何らかの対応をする必要がある。
総合評価		<p>【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまり成果が得られなかった。 ・中学校給食の実施が財政的に困難な中、当面の昼食対策として始めた選択制ランチサービスであったが、思ったほど効果が出なかった。 ・中学校給食の実施については、現在の田川市PTA連合会の意見を聴くなどし、食育の観点からも時代にあった方向性を考えるべきである。

平成 21 年度 田川市教育委員会 自己点検・評価シート

○ 重点施策

自主的な充実した地域活動の推進

主要課題	1 校区活性化協議会活動の推進	
担当課	生涯学習課	
課題対策の 具体化	組織の基本体制の維持（公民館部会、青少年育成部会、社会福祉部会）	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 各校区活性化協議会の事務局長による会議を隔月に開催し、1人1校区担当制により連絡調整も行い、校区活性化協議会活動の推進に取り組んでいる。 成果としては、活動評価制度を導入していることから、校区ごとに特色ある事業が展開され、事務局を中心とした三部会間の連携も図られているため、各校区ともに地域の活性化に繋がっている。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 各部会ともに独自の役割に応じて活動が成されているため、組織の基本体制については現状維持を図ることが望ましいと思われる。 しかし、部会を越えて行われる事業が校区によりばらつきがある。
課題対策の 具体化	「男女共同参画計画」に呼応した女性の参画の推進	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> (1)新たに男女共同参画室と連携を取り、猪位金校区と伊田校区の2校区で女性部確立に向け男女共同参画研修会を実施した。（予算は男女共同参画推進室） (2)男女共同参画室と、青少年育成部会、PTA等と連携を取り、2校区（伊田、鎮西）において、男の料理教室を実施した。（予算は男女共同参画推進室） (3)弓削田校区で、弓削田小学校児童対象の「ふれあい餅つき大会」を実施、中央校区では、田川小1年生対象の「七夕まつり」を実施するなど、それぞれの校区の事業で、男女の参加が促進された。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 予算の関係上、男女共同参画事業は校区持ち回りで実施しており、単年度での全市的な取り組みとはなっていないのが課題である。
課題対策の 具体化	地域と学校との協働による特色ある連携事業の推進	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 校区によっては、学校の運動会に併せて活性化の事業を行うなど、学校との連携が図られている。 また、田川校区においては「子どもシンポジウム」を学校と協働し実施しているが、近年では子どもたちに運営の一部を任せるなど、校区活性化中心の事業から、学校と協働することに主体をおくように進展させている事業も多く見られるようになった。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 校区活性化協議会の事務局は、各校区とも学校内の空き教室を利用している。校区活性化協議会発足当初よりも、学校と協働する事業が増えてはきているが、学校内に事務局を構えている特性を活かして、更に学校との協働事業を増やすことが求められる。

課題対策の 具体化		地域における家庭教育の向上をめざした事業の推進
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・校区活性化協議会の公民館部会との連携の下、各校区の単館公民館で家庭教育講座が開催された。 地区公民館 6館 ・地域で子どもを育てる手法を模索しながら、家庭・地域教育の充実を図っている。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自主的・主体的な活動を目指しているため、講座の開催数が減少傾向にある。
課題対策の 具体化		子どもの安全確保・青少年の非行防止を中心とした青少年対策室事業の推進
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各校区活性化協議会の協力のもと、青色パトカーによる市内巡回活動及び街頭啓発活動を実施し、「子どもの安全確保」及び「青少年の非行防止」に向けた取り組みを行った。成果としては次のとおりである。 (1) 校区住民意識の高揚と犯罪抑止 青色パトカーによる巡回活動により、青パトの存在及び活動内容が、子どもや校区に浸透し、青少年の非行防止と不審者等に対する校区住民の意識が高揚して犯罪抑止に寄与していると思われる。 (2) 地域行事等の活発化 住民の間で「子どもの安全確保」と「青少年の非行防止」に対する意識が高まったことにより、各校区では青少年健全育成及び非行防止、子どもの安全対策等の活動や行事が活発化した。 (例) <ul style="list-style-type: none"> ①地域住民が主体の「青少年非行防止パレード」の実施。 ②地域ボランティアによる低学年児童の引率下校。 ③下校時間帯の通学路要所におけるボランティアの立哨。 ④地域住民と児童生徒の交流を図る各種フェスティバルの開催。 ⑤ボランティア組織独自の青パトによる巡回。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 行政と地域との連携強化 田川市まちぐるみ子ども安全連絡会議の委員の見直し等を行い、関係機関・団体及び地域住民との連携はこれまで以上に緊密化している。今後一層、充実強化を図る必要がある。 (2) 地域の活性化 「子どもの安全確保」及び「青少年の非行防止」活動は、一部地域を除いて、行政主導による部分があることは事実であり、今後は地域独自の活動を積極的に支援し、活性化させることが課題である。 (3) 大人と子どもが一体となった地域づくりの支援 地域における様々な行事等が実施され、その内容も回を重ねるごとに充実しているが、今後更に、子ども参加型の地域行事を積極的に支援する必要がある。 (4) 学校と地域との連携強化 地域活動等を通して、学校と地域が今まで以上に相互理解と連携を強化し、青少年の「思いやりの心」を育む取り組みを支援推進する必要がある。
課題対策の 具体化		地域内のネットワーク構築と社会福祉活動事業の推進

実績	成果	・社会福祉部会は、民生委員・児童委員や老人会が中心となって組織されているため、地域内のネットワーク構築が図りやすい体制となっている。
	課題	・ネットワークの構築については図られているが、社会福祉活動の中心的な役割を担う社会福祉部会については、他の部会に比べて独自の事業展開が少ない傾向がある。
課題対策の具体化		各地域の活動状況に応じた公正な補助金配分の実施
実績	成果	・平成18年度に開催された校区活性化協議会改革推進委員会の答申に基づき、補助金の評価割が5%から年次的に10%まで引き上げられたことにより、校区間の競争意識が高まった。
	課題	・活動評価制度を導入している弊害として、年々、各校区への補助金配分について差が広がっている。 ・各校区の特色を活かした事業よりも、活動評価制度において得点を得やすい事業を行う傾向も見える。 ・3年毎に改革推進委員会を行っているため、評価割の取扱いについて、10%に引き上げた影響を再検討する必要がある。
課題対策の具体化		地域活動の創意工夫による自主財源の確保の推進
実績	成果	・弓削田校区においては「100円募金」という取り組みにより、自主財源を確保している。 ・自主財源確保により、補助金のみに頼らず、幅広い予算執行が行えている校区もある。
	課題	・自主財源の確保については、地域住民の理解が必要である。 補助金のみで事業を運営している校区が多いが、各校区ともに自主財源の確保は難航しているのが現状である。
課題対策の具体化		広報活動の活発化と事業の促進
実績	成果	・各校区では、年3・4回の活性化だよりを事務局が発行している。また広報たがわ『地域だより（月1回・原則として15日号）』では地域活動（校区活性化協議会及び地区公民館等）及び中央公民館活動（生涯学習課等）で行われる各種事業の紹介や募集等について掲載している。
	課題	・広報たがわ『地域だより』で各種の取り組みを紹介しているが、市民に深く浸透していない。
総合評価		<p>【B】</p> <p>・校区活性化協議会については、平成10年に設立後、3年に一度の「地域活動活性化協議会改革推進委員会」を開催し運営面等について検討を行っている。その検討結果に基づき事業内容を見直してきたことにより、校区活性化協議会の事業も年々向上・充実の傾向にある。しかし、本来の地域のふれあいを考えた事業より、幾人の住民を集めることができるのかといった事業を優先させるような側面も見受けられるとの意見があっている。よって、より密接に地域のふれあいができる事業とは何なのかを、校区活性化協議会と一緒に模索する必要がある。</p> <p>なお、職員が積極的に地域に行っていることに対し、良い評価を得ている。</p>

主要課題	2 生涯学習の拠点としての公民館活動の推進	
担当課	生涯学習課	
課題対策の 具体化	中央公民館の役割	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館は昭和61年に開館されて以来、市民の学習活動やコミュニティーづくりのために施設の提供を積極的に進め、生活・文化の向上と社会福祉の増進に努めている。講座の開設等にも取り組んでおり、生涯学習の推進の拠点として寄与している。事業の成果としては次のとおりである。 (1)人材バンク事業 開設講座：74講座 受講者数：850人 (2)公民館講座 開設講座：6講座 受講者数：84人 (3)こがねが丘大学 開設講座：10講座 受講者数：216人
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の中心施設として、市民の教育文化の向上を目指していることから、各種講座や学級、人材バンク事業及びこがねが丘大学の推進に取り組むことが求められている。市民の生涯学習に対するニーズを捉えていくことが必要である。
課題対策の 具体化	地区公民館の役割	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 市内に89ヶ所の公民館と6ヶ所の集会所が設置されている。 地区公民館については、田川市公民館連絡協議会が主体となって、それぞれの地域の生涯学習の中心的な機能を果たしている。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 各地域単位の生涯学習の拠点となっている地区公民館であるが、公民館活動の盛んな地域が多い中、活用があまり図られていない公民館がある。
総合評価	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館については、毎年一回、公民館運営審議会を行い、事業の見直しを図っている。また、地区公民館については、田川市公民館連絡協議会や市長部局との連携を図り、地区公民館活動の推進を図る必要がある。 地域によっては公民館活動の取り組みに温度差があり、参加者も固定されている公民館もある。少子高齢化が進行し、公民館活動そのものが暗礁に乗り上げかけている地域もないとは言えない。地域の人達が一体となり、各地域における取り組みに参加することが必要とされるが、地区公民館の活動を注視していく必要がある。 	

○ 重点施策

人権・同和教育の推進と青少年の健全育成

主要課題	1 人権・同和教育の推進	
担当課	生涯学習課	
課題対策の 具体化	人権・同和教育事業及び啓発活動	
実績	成果 成果	<p>(1)地区公民館等人権・同和教育講座の中央講座の開設 地区公民館 3回 校区活性化協議会 6回 公民館長・主事研修と合同で中央講座を3月19日開催 参加人数 100人</p> <p>(2)社会参加促進事業の推進 自動車免許取得識字学級の開催 60回 120時間 参加人数 70人 識字学級の開催 13学級 延べ日数248日 496時間 参加人数 106人</p> <p>(3)子ども会地区学習事業（少年期人権啓発推進事業）の実施 人権学習 239日 小学生リーダー研修、中学生合宿研修の開催（英彦山青年の家）</p> <p>(4)社会教育指導員の設置 地区学習、友の会での指導、助言を行った。</p> <p>(5)人権フェスタの開催及び人権ポスターの展示 12月13日 青少年文化ホールにて開催 参加人数 357人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権ポスターの展示 ・公民館まつり 10月10日、11日 ・人権週間（市役所玄関口） 12月4日～10日 ・人権フェスタ（青少年文化ホール） 12月13日 ・ポスター応募者数 小学生239人 中学生94人
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館及び校区活性化協議会の人権・同和教育講座の開設が目標値に届かなかった。今後は募集の方法について、検討する必要がある。 国の補助が終了し、県の補助も識字学級や啓発に特化されている。縮小する予算の中で事業の継続を図る。
総合評価	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加促進事業の推進、人権・同和教育中央講座の実施、地区公民館等人権・同和教育講座の実施、子ども会地区学習事業（少年期人権啓発推進事業）の実施により人権・同和教育の推進を図っている。 	

主要課題	2 青少年健全育成と家庭教育力向上への支援	
担当課	生涯学習課	
課題対策の 具体化	青少年の健全育成事業	
実績	成果	<p>【わたしの主張大会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人格を形成する上で重要な時期にある青少年が、日常生活を通じて日頃考えていることを発表することにより、同世代の青少年に社会の一員としての自覚を促し、あるいは目覚めることを期待し、11月21日に田川市わたしの主張大会を実施した。また、翌年2月6日、田川市郡の代表者9名が集い田川地区大会を開催。この大会を通じて、青少年の健全育成に対する一般の人々の理解と協力が更に深まるきっかけとなった。 <p>【立入調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非行防止及び環境浄化を目的に、福岡県青少年健全育成条例に基づく立入調査を7月と11月の年2回実施。市内の書店、ビデオ店、刃物取扱店等の立入調査を実施し、青少年の非行防止を未然に防止するよう取り組んだ。
	課題	<p>【わたしの主張大会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会への参加者が年々減少傾向にある。この大会を通じて、青少年の健全育成に対する一般の人々の理解と協力が更に深まるきっかけとなるよう周知を強化するとともに、実施会場について検討する必要がある。 <p>【立入調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の非行防止を未然に防止するため、今後もより一層、関係機関・団体及び地域住民との連携の充実強化を図る必要がある。
課題対策の 具体化	家庭教育力向上への支援	
実績	成果	<p>【0歳期教育親子教室の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月から10月にかけて5回の講座を開催。また、受講生が安心して受講できるよう託児を完備した。子育てに対する考えや悩みをお互いに共有することにより、解決策を見出すきっかけとなった。
	課題	<p>【0歳期教育親子教室の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で、子育て中のお母さん方のニーズに合った講師の選考を行い親子教室の継続を図りたい。しかし、関心のない親の参加をどのように促して行くか、また、事業実施にあたり財源を補助金に頼っているため、今後事業を継続するために、いかに財源を確保して行くかが課題である。
総合評価	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座等各種講演会の実施、「広報たがわ」青少年特集号の発行、「わたしの主張大会」の実施、0歳期親子教室の実施など青少年健全育成、家庭教育力の向上に努めている。 ・今後も引き続き事業の実施に努められたい。 	

○ 重点施策

誇りあるまちづくりをめざす生涯スポーツの振興

主要課題	1 生涯スポーツの振興	
担当課	生涯学習課	
課題対策の 具体化	体育・スポーツの推進	
実績	成果	・ 体育協会・体育指導委員や各関係団体の協力により、健康維持・増進を目指した市民スポーツの浸透が深まり、今後も充実を図りたい。
	課題	・ 青少年が田川地域でのスポーツの普及・振興を目指すには、中学校体育連盟と高校体育連盟との連携と協力体制の整備・充実により、地元の中学校や高校での部活動の実施を図る必要がある。
課題対策の 具体化	総合型地域スポーツクラブ事業の推進	
実績	成果	・ 地域住民のスポーツ活動に関する意識が高まり、スポーツライフも多様化する中、誰もがそれぞれの年齢、体力、技術、興味、目的に応じてスポーツに親しむことができる、「総合型地域スポーツクラブ」を立ち上げるため、平成12年に後藤寺スポーツクラブ、平成14年に県立大学を中心にしたEASTクラブ、平成16年には猪位金中学校区を対象にしたいのっこクラブ、平成19年には鎮西中学校区を対象としたL&Sクラブ、平成20年度には中央中学校区を対象とした中央スポーツクラブを設立し、「いつでも、どこでも、だれもが」をスローガンに自主運営で実施している。
	課題	・ 既設、新設予定箇所ともに指導者の発掘に苦慮しているため、人材の育成を目的とした研修会の開催が必要である。
課題対策の 具体化	各種スポーツの振興	
実績	成果	・ 市民体育大会や県民体育大会などの大会により、住民の継続的なスポーツ習慣の普及・啓発ができた。
	課題	・ 地域の公民館を中心とした高齢者を対象の健康・栄養等の教室の開催を保健センターと連携し、継続的に実施できるよう調整することが必要である。
課題対策の 具体化	体育施設の管理・改修等	

実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育施設の管理については、指定管理者制度を導入していることにより、行政コストの節減が行われた。また、改修等については、年次計画を策定し、平成21年度実施予定分については、予定どおり行った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設利用者が横ばいであることから、指定管理者による更なる施設利用のための経営努力が必要である。改修等については、経年劣化により、年次計画にあがっていない修繕が発生している。
総合評価		<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供から高齢者まで、公共体育施設及び地域公民館を活用し、健康増進を目的としてスポーツ教室が実施されている。 ・ 今後も生涯スポーツの振興に努力していきたい。

平成 21 年度 田川市教育委員会 自己点検・評価シート

○ 重点施策

誇りあるまちづくりをめざす文化の振興

主要課題	1 芸術文化の振興
担当課	文化課
課題対策の 具体化	市民文化祭（こども音楽祭）の開催、懐かしの名画祭の開催（文化センター・青少年文化ホール）
実績	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化祭においては、市民の芸術文化活動である創作発表会を通して団体相互の交流を促進すると共に市民文化の高揚を図るため、市民文化祭を開催した。 春季（4・5月）9団体、秋季（10・11月）24団体が参加 ・こども音楽祭（秋季市民文化祭のメイン行事）においては、市内園児、小・中学校の児童・生徒、一般市民などによる楽器演奏、吹奏楽、合唱など日頃の練習成果を発表する場を提供し、園児から大人までの相互の音楽交流と発展に努めた。 11月3日：田川文化センター 6団体が参加 ・懐かしの名画祭においては、文化庁より優れた懐かしの名画を誘致し、一般市民に映画鑑賞の機会を提供した。 8月1日・2日：田川青少年文化ホール（4作品）参加者数345人
	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化祭、こども音楽祭、懐かしの名画祭、以上三つの全ての行事において、参加者及び参加団体数の増を目標とする。そのために、効果的な広報活動を行うこと、又、主催団体及び共済団体間の協力、連携を強めていく必要があると考えられる。
課題対策の 具体化	芸術文化体験事業（文化センター・青少年文化ホール）
実績	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の芸術文化活動の向上発展に資するため、関係機関や文化団体等と協力、連携し、本年度は劇団トマト座を招聘しミュージカル「オズの魔法使い」を上演した。日頃、接することの少ない優れた本物の舞台芸術を体験する機会を設けることで、青少年のゆとりある心と豊かな感性を引き出し、文化に対する理解の充実を図ることが出来た。 9月29日：田川文化センター 参加人数 小学校3校 594名 中学校4校 322名 計916名
	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年会場が田川文化センターとなっているため、児童、生徒は各学校から徒歩及びバスで会場まで移動する必要があるため、文化センターから離れた地域の小・中学校の児童・生徒の観覧が少ない。しかし、遠足との併用やバスを手配して参加する学校もでてきたことから、今後より多くの学校に参加を促したい。

課題対策の 具体化		文化団体の育成
実績	成果	<p>地域振興基金</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化団体の育成を図り、文化活動が市民に定着するように支援し、市民の自主的な芸術・文化活動等を奨励するため「田川市文化振興基金」の効率的な運用を図った。 <p>文化振興基金奨励事業：実施団体1件 太鼓金陵</p> <p>田川文化連盟</p> <ul style="list-style-type: none"> 田川文化連盟は60年以上の歴史を持ち、その活動を通して資質の向上と地域文化の充実発展に努めている。事務業務を一部補助する形で関係団体を支援し、連携強化を図りながら地域に受け継がれた伝統文化、特色ある地域文化の育成に努めた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域に受け継がれた伝統文化、特色ある地域文化をより一層充実させるために、田川文化連盟と本市との間で共通の目標を設置し、今まで以上に連携を取り事業活動の企画・運営を行う必要がある。
課題対策の 具体化		魅力ある企画展の開催（美術館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 地元で活躍する作家を取り上げた自主企画展「池松一隆彫刻展」「給食番長 よしながこうたく絵本原画展」2本を開催し、展覧会に併せて様々なイベントを企画した事で、幅広い年代層の多くの入館者を記録した。 (財)地域創造の助成を受けて、他県の3つの美術館・博物館と実行委員会を立ち上げて開催した「小森忍展」において、国の重要文化財に指定されるような貴重な美術品を多く展示する展観となった。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 「小森忍展」は、平成21年度の主要な企画展であり、他館との協力で展観としては評価できるものであったが、小森忍という名前が一般に広く認識されていないため、広報・宣伝に力を注いだにもかかわらず、入館者が予想を下回った。 反対に、「よしながこうたく絵本原画展」は、急遽企画変更して決まった企画展であったが、地元のフリーペーパーの編集部等の協力により、多くの入館者を記録することができた。地域と連携して集客の効果を上げるという良い例になった。
課題対策の 具体化		市民の多様なニーズに応える美術館
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> グループ展、個展、コンサート等、市民の文化活動の発表の場として施設利用された。 企画展と貸館との調整で、空白となった9月の連休の時期に、多彩なイベントを企画し、幅広い年齢層の方が集える美術館を演出した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 経済状況を反映してか、貸館の施設利用が減少傾向にあったが、新規の利用者もあり、例年並みの利用があった。今後とも、施設利用の促進を図る必要がある。 9月の連休の連続イベントについては、美術館の違った面を見てもらえる企画になった。今後も、多くの人が集える、美術品展示に拘らない企画についても検討していきたい。

課題対策の 具体化		教育普及事業の推進（美術館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会ごとにテーマに即したワークショップを開催し、好評を博した。 ・ 毎年好評の講座「夜の美術館」平成21年度は「小森忍展」に合わせて、「九州の陶芸」と題して開催した。 ・ 大人向けの木版画のワークショップ、子ども向けの水カンリンバのワークショップを開催した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「夜の美術館」は、根強い人気講座であるが、参加者が固定化する傾向がある。他のワークショップについては、内容が多種にわたるので、より広い層の参加者が集まった。
課題対策の 具体化		学校教育、他館との連携（美術館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校からの施設見学及び展覧会鑑賞時の解説、学校からの要請により出前授業を実施した。 ・ 筑豊美術館ネットワークの事業として、ワークショップを共同開催し、そのドキュメント展を巡回展示した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画展ごとに田川市郡の小中学校への広報は行っているが、学校現場の事情もあり、出前授業の回数は増えていない。 ・ 筑豊美術館ネットワーク共同でのワークショップは成果を上げてきたが、今後は巡回展の企画等も検討していく必要がある。
総合評価		<p>【A】 （文化センター、青少年ホール）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化事業については、田川文化連盟や田川ロータリークラブの協力連携によって多くの市民が参加する事業が実施できた。芸術文化体験事業、子ども音楽祭については新型インフルエンザの流行によって当日参加できない団体もあり、今後は感染症対策も含め、小中学校との連携をさらに図りながら推進していく必要がある。 <p>（美術館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会によっては、内容は評価出来ても、入館者が伸びなかったというものはあるが、年度を通じては、いろいろな企画を盛り込むことで、広い年齢層のより多くの人に美術館に足を運んでもらえた。

主要課題	2 読書活動の推進
担当課	文化課
課題対策の 具体化	子どもに対する読書対策（図書館）

実績	成果	<p>子どもの読書への関心を喚起するため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隔週金・毎週土曜日 ボランティア等による絵本の読み聞かせ ・4月25日 子ども読書の日イベント開催（参加35名） ・10月24日 田川市読書まつり開催（参加35名） ・夏休み 読書マラソン（参加者393名） ・12月19日 図書館子どもクリスマス会（参加117名） <p>子どもの読書活動を推進するためのボランティアの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月5日・26日、11月30日、12月14日、2月12日・26日 ボランティア養成講座開催（受講者114名） <p>絵本を媒体として赤ちゃんと保護者のコミュニケーションを推進する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業 毎月7ヶ月健診時に開催（配布者152人）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の行事を通じて、就学前及び児童・生徒の読書意欲を喚起している。今後はボランティア団体とのより一層の協働及び広報等で周知に努め、さらなる参加者の増につなげたい。
課題対策の具体化		市立図書館と小・中学校図書館との連携（図書館）
実績	成果	<p>学校図書館協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月28日 こども童話発表会の開催（来場者110名） ・1月13日～24日 読書感想画展開催（応募者118名 優秀者51名） ・2月9日 感想文コンクール優秀者文集配布（応募者86名 優秀者31名） <p>図書館見学の受入れ（4校 206名）</p> <p>図書館職場体験学習（4校 10名）</p>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館協議会との一層の連携拡充が必要である。
課題対策の具体化		図書の資料収集の充実や必要な資料の提供等（図書館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・受入図書資料 6,711冊 ・リクエスト件数 4,661件 ・他図書館との相互貸借 486冊 ・参考業務受付件数 986件 ・レコードコンサートの開催 月一回 延べ164人参加
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・より高度な情報の提供に努める必要がある。
課題対策の具体化		自動車文庫の積極的運営（図書館）
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・21年度自動車文庫貸出し冊数 37,042冊 ・一般市民を対象にした停留所（31箇所） ・学校・保育園・幼稚園や社会福祉施設等（42箇所）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車文庫における貸出し冊数は増加傾向にあるが、新規の停留所等の申請があった場合、日程に余裕がないため、受入れが困難になってきている。

総合評価	<p>【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の基地として、子どもの読書活動を推進するため、多様なサービスの提供をおこなっており、また学習意欲の高い高齢者等市民への資料提供や相談業務をおこなっている。 実績としては、図書購入費が横ばいのなか、貸出し冊数は前年と比較して約3千冊の増加となっている。
------	---

主要課題	3 「石炭の歴史」の発信と文化財保護	
担当課	文化課	
課題対策の具体化	博物館機能の充実	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 話題を提供することにより、様々なメディアで取り上げられたので、博物館への関心が高まった。 入館者が増加し、問合せ件数がかなり増えた。 筑豊地域の資料館や県内各機関及び釧路市立博物館と連携して、調査・研究を進めることができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵資料の保管・整理(収蔵庫の拡充)及び老朽化による展示物の補修・改善をする必要がある。
課題対策の具体化	教育普及活動の強化(博物館)	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 館長講座「炭坑の語り部」、教職員対象研修講座、体験学習「勾玉作り」、「石炭を燃やそう」、文化財探訪(糟屋地区見学)等、各種講座を実施した。 企画展では「北と南を結ぶヤマ(釧路市立博物館と共催)」と「筑豊いまむかし」を開催し、関連事業とともに大きな好評を得た。 「炭坑の語り部」記録集・映像記録、また館報・博物館だよりの刊行物等で普及と活用を図った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育等と密接な連携を図り、若い世代の博物館の活用をさらに充実させる必要がある。
課題対策の具体化	文化財の保護と活用(博物館)	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産登録推進との関係で、炭坑関係の遺産に関する調査・研究が進展し、近代化産業遺産への住民の関心を高められた。 埋蔵文化財の開発に伴う事前審査、民俗芸能保持団体への助成金等を通じ、市内文化財の効果的な保存活用を図った。 「遠賀川流域古墳同時公開」等を通じて、他市町村と連携した埋蔵文化財の活用に効果があった。

	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・石炭産業関連遺産の保存活用 ・埋蔵文化財の効果的な保存 ・指定文化財の効果的な保存活用
総合評価		<p>【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の歴史全般にわたる文化財について保存活用を図ってきたが、今年度は特に石炭産業を後世に語り継ぐため、重点的に調査研究を行った。 ・成果については、博物館の講座・イベント等で市民へ還元し、概ね好評を得ることができた。

主要課題	4 世界遺産登録への推進	
担当課	文化課	
課題対策の具体化	文化財の保護と活用	
実績	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的に伊田竪坑櫓と二本煙突は「九州・山口の近代化遺産群」の構成資産から外れ、関連資産として検討されるに至ったが、その過程で近代化遺産全般に関する関心を高めることができた。 ・「九州・山口の近代化遺産群」の関連で評価が高かった山本作兵衛炭坑記録画「世界の記憶遺産」に申請した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産の候補から外れたが、伊田竪坑櫓と二本煙突を含む三井田川鉱業所伊田坑は、筑豊及び日本の近代化を語る上で重要な文化財であることは変わらないので、調査研究を踏まえた上で国指定史跡を目指し、十分な保存活用を今後も図っていく必要がある。
総合評価	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産より外れ、世界遺産に直接かかる事務事業は区切りをつけたが、一連の活動によって近代化産業遺産の保存と活用に関する機運が高められたことは成果である。今後は、一過性のものとせず、如何に継続していくかが課題である。 	

教育委員会会議議案一覧

(資料1)

議案番号	件 名	議決日
第 7 号	特別の勤務に従事する田川市教育委員会職員の勤務時間に関する規程の一部改正について	H21. 4. 9
第 8 号	田川市教育委員会事務局処務規則の一部改正について	〃
第 9 号	田川市教育委員会事務局グループ制の執行に関する規程の廃止について	〃
第 10 号	田川市教育委員会教育委員（教育長）の辞職について	H21. 4.23
第 11 号	田川市教育委員会教育委員（教育長）の辞職について（追加）	〃
第 12 号	平成 21 年度教育施策方針について	H21. 5.12
第 13 号	平成 21 年度教育費（6 月補正）予算要求について	〃
第 14 号	田川市教育委員会事務局処務規則の一部改正について	〃
第 15 号	田川市放課後児童健全育成事業実施要綱の制定について	〃
第 16 号	平成 21 年度田川市立学校学校評議員の委嘱について	〃
第 17 号	田川市教育委員会教育長の選任について	H21. 7. 1
第 18 号	田川市社会教育委員の委嘱について	H21. 7. 7
第 19 号	平成 21 年度教育費（9 月補正）予算要求について	H21.8.12
第 20 号	平成 20 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について	〃
第 21 号	平成 22 年度使用中学校教科用図書採択について	〃
第 22 号	田川市就学指導委員会委員の委嘱について	〃
第 23 号	田川市美術館協議会委員の任命について	〃
第 24 号	田川市石炭・歴史博物館等運営協議会委員の委嘱について	〃
第 25 号	田川市文化財専門委員会委員の委嘱について	H21. 9. 9
第 26 号	平成 21 年度田川市教育功労者の選考について	H21.10. 7
第 27 号	田川市教育委員会教育委員の辞職について	H21.11. 9
第 28 号	平成 21 年度教育費（12 月補正）予算要求について	〃
第 29 号	田川市体育施設条例の一部改正について	〃
第 30 号	田川文化センター及び田川青少年文化ホールの指定管理者の指定について	H21.12. 7
第 1 号	平成 22 年度教育費当初予算について	H22. 1.12
第 2 号	平成 22 年度田川市立小・中学校教職員人事異動方針（案）について	〃
第 3 号	田川市体育施設条例施行規則の一部改正について	〃
第 4 号	平成 21 年度教育費（3 月補正）予算要求について	H22. 2. 8
第 5 号	田川市文化振興基金条例の制定について	〃

第 6 号	田川市育英事業基金条例の制定について	H22. 2. 8
第 7 号	平成 22 年度田川市立小・中学校、校長・教頭の任免異動について	H22. 3.23
第 8 号	田川市教育委員会事務局処務規則の一部改正について	〃
第 9 号	田川市立学校事務補助員の任用に関する規程の一部改正について	〃
第 10 号	田川市特別支援教育支援員の任用に関する規程の一部改正について	〃

※議案番号は、毎年 1 月を基点としています。

教育委員会会議報告等一覧

(資料 2)

【報 告】

報告番号	件 名	議決日
第 1 号	田川市教育委員会職員の任免異動について	H21. 4. 9
第 2 号	教育委員会職員の任免異動について	H21. 7. 7

※「報告」とは、田川市事務委任及び臨時代理規則第 3 条ただし書の規定による報告をいいます。

【事務報告】

番号	件 名	議決日
1	平成 21 年度田川市立小・中学校教職員人事異動の総括について	H21. 4. 9
2	田川市幼児教育審議会設置要綱について	〃
3	平成 21 年度教育委員学校訪問の実施について	〃
4	田川市体育施設の指定管理者との基本協定について	〃
5	世界文化遺産登録への取組みについて	〃
6	中学校給食実施庁内検討委員会の設置について	H21. 5.12
7	新型インフルエンザに関する対応について	H21. 6. 4
8	中央中学校屋内運動場の改築位置について	〃
9	田川市武道館の解体について	H21. 7.28
10	豪雨（7 月 24 日・25 日・26 日）による被害状況について	〃
11	田川文化センター・田川青少年文化ホールの指定管理者制度について	H21. 8.12
12	青色パトカーの有効活用について	H21. 9. 9
13	船尾小学校跡地利用等検討委員会における審議の中間報告について	〃
14	太陽光発電施設整備計画について	H21. 9. 9
15	後藤寺幼稚園の移転について	H21.11. 9

16	田川市幼児教育審議会の審議経過について	〃
17	後藤寺中学校敷の売却について	〃
18	世界遺産への取り組みに係る経過報告について	H21.12.7
19	平成22年度田川市立幼稚園園児募集について	〃
20	学校施設耐震診断の結果について	〃
21	市内中学校の生徒指導について	H22.2.8
22	田川市立中学校ランチサービス事業について	〃

※「事務報告」とは、教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務に関して行う報告をいいます。

教育委員研修会等参加状況

(資料3)

開催日	研修内容	主催	場所
H21.4.3	人事異動に伴う辞令交付立会	福岡県教育委員会	飯塚市
H21.4.7	福岡県立川崎養護学校入学式	川崎養護学校	川崎町
H21.4.16	田川警察署協議会	田川警察署	田川市
H21.4.17	福岡県市町村教育委員会教育委員長・教育長会議	福岡県教育委員会	福岡市
H21.4.20	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H21.4.22	田川市郡租税教育推進協議会第1回定時総会	田川市郡租税教育推進協議会	田川市
H21.5.15	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H21.6.13	第40回公立学校等女性管理職研究大会	福岡県公立学校等女性管理職会	飯塚市
H21.6.17	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H21.7.2	筑豊市町村教育委員会連絡協議会	筑豊市町村教委連絡協議会	飯塚市
H21.7.13	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H21.7.29	筑豊地区小学校長会総会・研修会	筑豊地区小学校長会	飯塚市
H21.8.4	第24回筑豊地区市町村立学校等女性教員研修会	筑豊地区市町村立学校等女性教員研修会	田川市
H21.8.17	福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育長研修会	県市町村教委連絡協議会	久留米市
H21.8.24	第51回福岡県市町村教育委員会女性教育委員研修会	県市町村教委女性教委研修会	福岡市
H21.8.27	第8回九州地区市町村教育委員研修大会	九州市町村教委連合会	島原市
H21.9.7	管内市町村教育委員等人権・同和教育研修会	筑豊教育事務所	田川市
H21.9.15	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H21.10.15	第23回九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会	九州都市教育長会	熊本市

H21.10.19	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H21.10.22	九州・山口の近代化産業遺産群世界遺産シンポジウム	九州・山口の近代化産業遺産群 世界遺産登録推進協議会	東京都港区
H21.11. 3	飯塚駐屯地創立 43 周年記念行事	陸上自衛隊飯塚駐屯地	飯塚市
H21.11. 7	第 24 回福岡県高等学校総合文化祭総合開会式	福岡県高等学校芸術・文化連盟	飯塚市
H21.11.10	チング筑豊公演	チング筑豊公演実行委員会	飯塚市
H21.11.11	第 26 回筑豊地区小学校家庭科教育研究大会	県・筑豊地区小学校家庭科教育研究会	添田町
H21.11.16	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H21.11.18	福岡県教育施策及び予算の要望	福岡県教育委員会	福岡市
H21.11.25	第 2 回筑豊地区中学校長会研修会	筑豊地区中学校長会	田川市
H21.11.28	筑豊ブロック PTA 連合会母親部会研修会	県 PTA 連合会・県教委	飯塚市
H21.12. 9	第 52 回福岡県市町村教育委員会女性教育委員研修会	県市町村教委女性教委研修会	福岡市
H21.12.10	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H21.12.14	附属研究所「社会貢献・ボランティア支援センター」開所式	福岡県立大学	田川市
H22. 1.19	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H22. 1.20	北九州・筑豊地区公立小中学校長人権・同和研究会研修会	北九州・筑豊地区公立小中学校長人権・同和研究会	田川市
H22. 1.27	福岡県市町村教育委員会連絡協議会委員長・教育長合同研修会	県市町村教委連絡協議会	福岡市
H22. 2. 1	長期派遣研修員最終報告会	福岡県教育委員会	北九州市
H22. 2. 6	第 16 回「わたしの主張」田川地区大会	県青少年育成県民会議田川地区協議会	福智町
H22. 2.10	福岡県教育センター研究発表会	福岡県教育委員会	篠栗町
H22. 2.12	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市
H22. 2.18	筑豊市町村教育委員会連絡協議会会議	筑豊市町村教委連絡協議会	飯塚市
H22. 2.19	「田川地区暴力団等総合対策推進協議会」設立総会	福岡県田川警察署	田川市
H22. 2.19	第 4 回筑豊地区スポーツ少年団軟式野球交流大会開始式	筑豊地区・田川市スポーツ少年団	田川市
H22. 2.23	福岡県市町村教育委員会連絡協議会新任委員・新任教育長研修会	県市町村教委連絡協議会	福岡市
H22. 3. 2	福岡県スポーツ健康課事務打合せ	福岡県スポーツ健康課	福岡市
H22. 3.10	福岡県立川崎養護学校卒業式	川崎養護学校	川崎町
H22. 3.24	管内市町村教育委員会教育長会議	筑豊教育事務所	飯塚市

教育委員学校訪問日程

(資料 4)

【定期学校訪問】

実施日：平成21年5月13日（水）

学 校 名	内 容
大藪小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内巡視 ・ 授業参観（2時限目） ・ 学校経営、児童指導状況説明と懇談・指導助言 ・ 給食試食と参観
金川中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内巡視 ・ 授業参観（5時限目） ・ 学校経営、児童指導状況説明と懇談・指導助言

実施日：平成21年5月15日（金）

学 校 名	内 容
弓削田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内巡視 ・ 授業参観（2時限目） ・ 学校経営、児童指導状況説明と懇談・指導助言 ・ 給食試食と参観
弓削田中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内巡視 ・ 授業参観（5時限目） ・ 学校経営、児童指導状況説明と懇談・指導助言

実施日：平成21年5月22日（金）

学 校 名	内 容
金川小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内巡視 ・ 授業参観（2時限目） ・ 学校経営、児童指導状況説明と懇談・指導助言 ・ 給食試食と参観
中央中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内巡視 ・ 授業参観（5時限目） ・ 学校経営、児童指導状況説明と懇談・指導助言

【授業充実学校訪問】

訪問年	月	日	曜	学 校 名	内 容
平成 21	6	9	火	後藤寺中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・筑豊教育事務所指導主事による授業参観 ・指導方法、内容等の改善協議会 ・学力向上方策等の学校運営の説明、協議
〃	6	15	月	猪位金中学校	
〃	7	1	水	大浦小学校	
〃	10	14	水	後藤寺小学校	

田川市教育委員会委員名簿

(資料5)

平成 22 年 3 月 31 日現在

区 分	(ふりがな) 氏 名	保 護 者	性 別	現 在 の 任 期 (委員長職等の任期)	過 去 の 在 任 期 間 (委員長職等の任期)
委 員 (委員長)	かしむらあきこ 柏村晶子		女	H21.10.11~H25.10.10 (H21.10.1~H22.9.30)	H13.10.11~H21.10.10 (—)
委 員 (委員長職務代理)	かんざきようこ 神崎陽子	○	女	H20.10.1~H24.9.30 (H21.10.1~H22.9.30)	H16.10.1~H20.9.30 (—)
委 員	せといくのり 瀬戸郁則		男	H20.10.1~H24.9.30	H16.10.1~H20.9.30
委 員	もうりしんいちろう 毛利眞一郎		男	H22.1.1~H23.12.31	—
委 員 (教育長)	おがきゆうぞう 尾垣有三		男	H21.7.1~H22.10.7 (H21.7.1~H22.10.7)	—